

筑波大学 社会・国際学群 社会学類

平成 30 年度 私費外国人留学生試験

## 小論文試験

(注意事項)

- 問題冊子 1 部、解答用紙 1 枚（横罫線 1 枚）が配られているか、確認してください。
- 下書き用紙は回収しませんので、自由に使って結構です。
- 解答用紙の所定欄に、受験学群・学類、氏名、受験番号を記入してください。これらが正しく記入されていない答案は、採点できないことがあります。
- 解答は、日本語で論述してください。
- 解答欄が足りない場合には、裏面を利用してください。ただし、その場合には、解答用紙の表の最終行に、「裏面に続く」旨を記入してください。

【問題】

参考資料 1 は、日本の女性の年齢階級別労働力率の推移のグラフである。この資料において、昭和 51 年（1976 年）、平成 8 年（1996 年）および平成 28 年（2016 年）のグラフが一枚の図にまとめられている。そして、参考資料 2 は、平成 28 年のデータを基にした主要国における女性の年齢階級別労働力率のグラフである。これらの参考資料を踏まえて、以下の問いに解答せよ。

（問 1）参考資料 1 において、昭和 51 年、平成 8 年および平成 28 年の 30～34 歳の年齢階級の女性の労働力率を、グラフ上の数値で解答せよ。

（問 2）参考資料 1 によれば、昭和 51 年のグラフは全体的に「M 字」型の傾向が強いが、平成 28 年のグラフは台形型に近づいた。また、参考資料 2 によれば、スウェーデンなどの国のグラフは台形型に近いが、韓国のグラフは「M 字」型の傾向が強い。そこで、一般的に、いかなる社会経済的要因が女性の年齢階級別労働力率のグラフが「M 字」型の社会をもたらすのか、それとも、台形型の社会をもたらすのかについて自由に論じなさい。



出典：内閣府男女共同参画局、『男女共同参画白書（平成 29 年版）』、I-2-3 図、  
（[http://www.gender.go.jp/about\\_danjo/whitepaper/h29/zentai/html/zuhyo/zuhyo001-02-03.html](http://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/h29/zentai/html/zuhyo/zuhyo001-02-03.html)）（2018 年 2 月 5 日アクセス）。



出典：内閣府男女共同参画局、『男女共同参画白書（平成 29 年版）』、I-2-3 図、  
（[http://www.gender.go.jp/about\\_danjo/whitepaper/h29/zentai/html/zuhyo/zuhyo01-02-03.html](http://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/h29/zentai/html/zuhyo/zuhyo01-02-03.html)）（2018 年 2 月 5 日アクセス）。